

# ASANO

## 緑化ワイヤーパーテーション

All Stainless Steel Greening Wire Partition

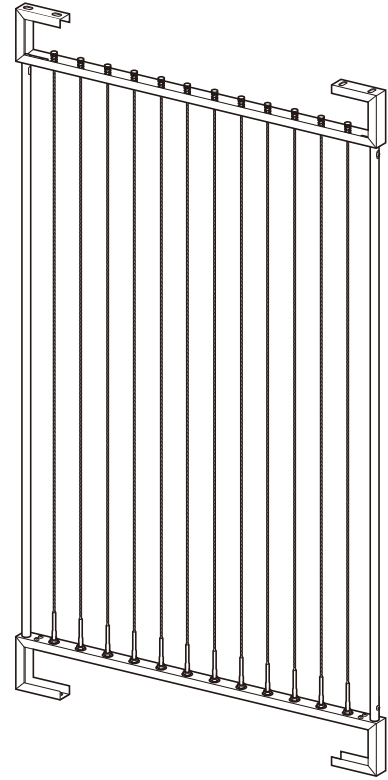
### 取扱説明書

#### 設置される施工業者様へ

本製品を正しく設置して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、設置後は管理されるお客様へこの取扱説明書をお渡しください。



#### 管理されるお客様へ

本製品を正しく管理して頂くためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後、いつでも見られる所に大切に保管してください。



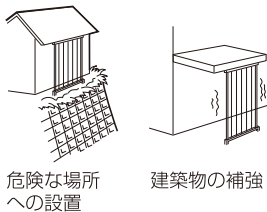
### 安全のために注意していただきたいこと

緑化ワイヤーパーテーションを正しく安全に施工および管理していただくために、また、お客様や周りの人への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書をよく読んで理解した上で本製品をお取り扱いください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 警告

- 本製品は転落防止や防風・防雪柵や手摺としての機能はありません。あくまでも植栽をワイヤーに這わせるためのパーテーションになります。また、建物の屋上やベランダ、断崖部など転落の恐れのある危険な場所への設置や、建築物の補強としての設置はしないでください。



危険な場所への設置

建築物の補強

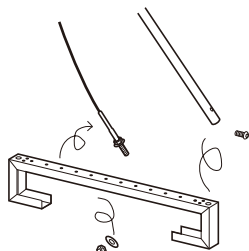
#### 注意

- 本製品の施工は施工知識を有する専門の施工業者が行ってください。施工に不備があると、製品本来の強度が得られず、破損する恐れがあります。特にアンカー施工においては、床や天井の強度が十分である事を確認してください。



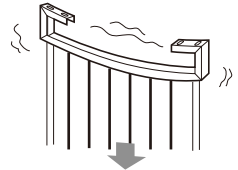
コンクリート

- 各部を固定しているねじ（ボルト）が緩んだ状態で使用するとねじが欠落して部品が外れて思わぬ事故に繋がります。1年に1回以上定期的に点検し、ねじの緩みがあったら増締めをしてください。また、故意にねじを緩めるなどの行為はしないでください。

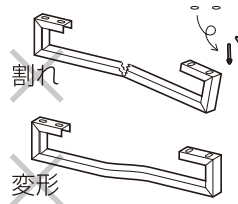


#### 注意

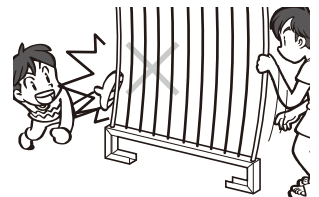
- ワイヤーを張り過ぎないでください。張り過ぎるとベースが曲がったり、アンカー部に負担がかかり、思わぬ落下事故の原因になりますので、軽めに緊張してください。



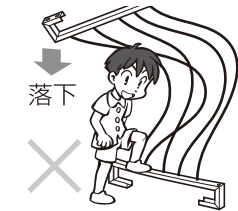
- 本製品に変形や傷、割れが発生した場合や、ベース固定のアンカーのがたつきや、抜けなどが発生した場合は、直ちに修理するか部品の交換をしてください。そのまま使用すると落下事故に繋がります。



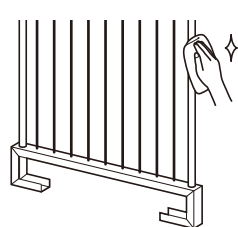
- 本製品を故意に揺らしたり、寄り掛かったり、衝撃を与えないでください。またサイドバーを手摺として扱わないでください。ねじの緩みや部品が破損し、事故の原因になります。



- ベースに乗らないでください。ベースが曲がったり、ワイヤーが伸びたり、また、ベースのアンカー部に負担がかかり、落下の原因になります。



- 本製品はステンレス製ですが、全く錆が発生しない材質ではありません。特に海岸沿いなどは錆が発生する場合があります。また内陸であってももらい錆などで発生する場合があります。錆をそのまま放置しますと強度が低下して破損する恐れがありますので、**点検・メンテナンス**を参照して錆を除去し、こまめに表面を清掃してください。

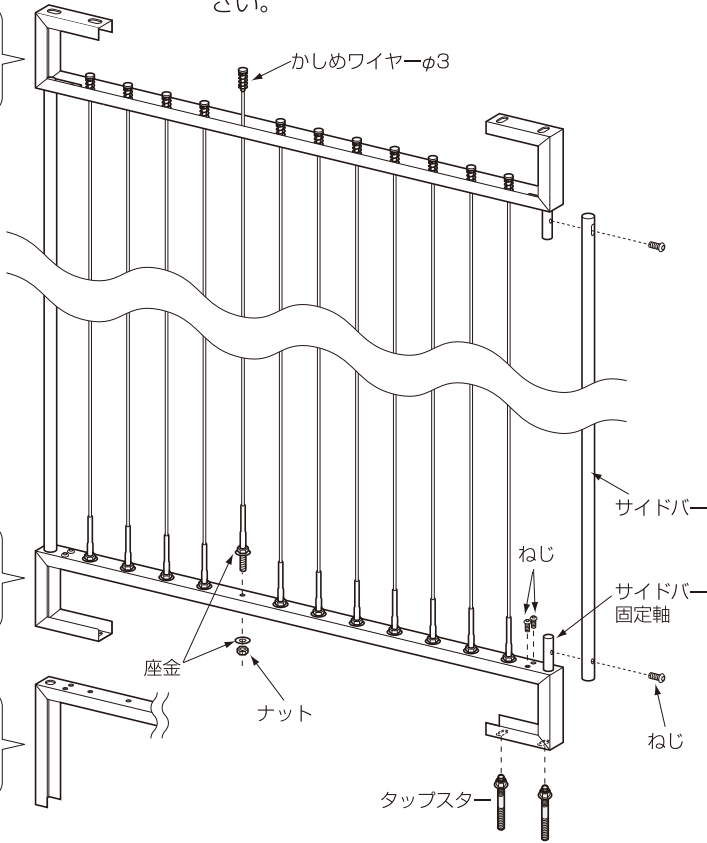


## 各部の主な名称

アンカーベースA型  
(サイドバー付)  
アンカーベースB型  
(ワイヤーのみ)

アンカーベースA型  
(サイドバー付)  
アンカーベースB型  
(ワイヤーのみ)

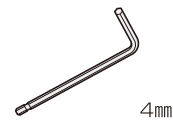
埋込ベースA型  
(サイドバー付)  
埋込ベースB型  
(ワイヤーのみ)



●緑化ワイヤーパーテーションは、ベース、かしめワイヤー、サイドバーなど、別々に納品致しますので、現地にて組付けてください。

## 施工に必要な工具類

### 六角レンチ



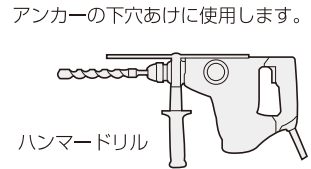
### スパナ及びソケットレンチ



### 専用工具



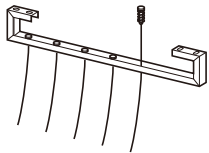
### 穴あけ用電動工具



## ベースの取付

### ポイント

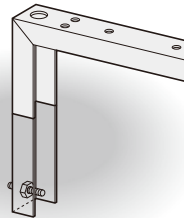
上部のベースを天井に取り付ける前に、そのベースにワイヤーを通しておくと施工しやすくなります。



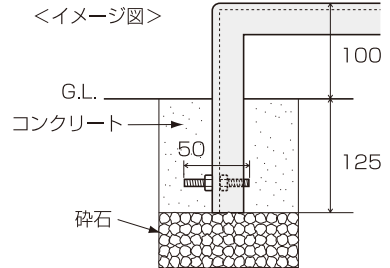
👉 **ワイヤーの取付** 参照

## 埋込型

埋込ベースA型/B型



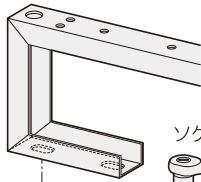
<イメージ図>



埋込深さは125mm（当社基準）となっています。深さを延長したい場合は事前に当社へお問い合わせください。

## アンカー型

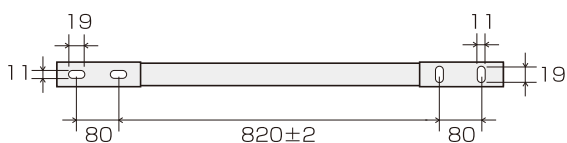
アンカーベースA型/B型



ソケットレンチ



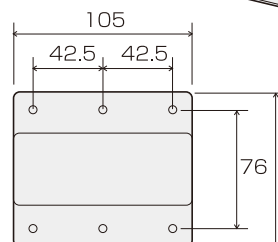
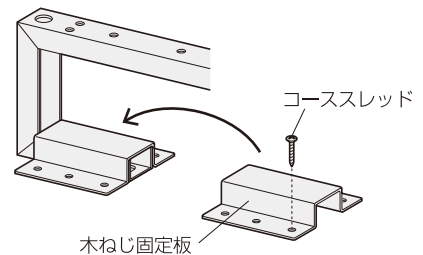
タップスターM10×80



アンカーは付属のタップスターを使用してください。（施工方法については当社へお問い合わせください。）  
但し、他の仕様（芯棒打込式おねじアンカーやケミカルアンカーなど）も可能です。

## 木ねじ仕様の場合

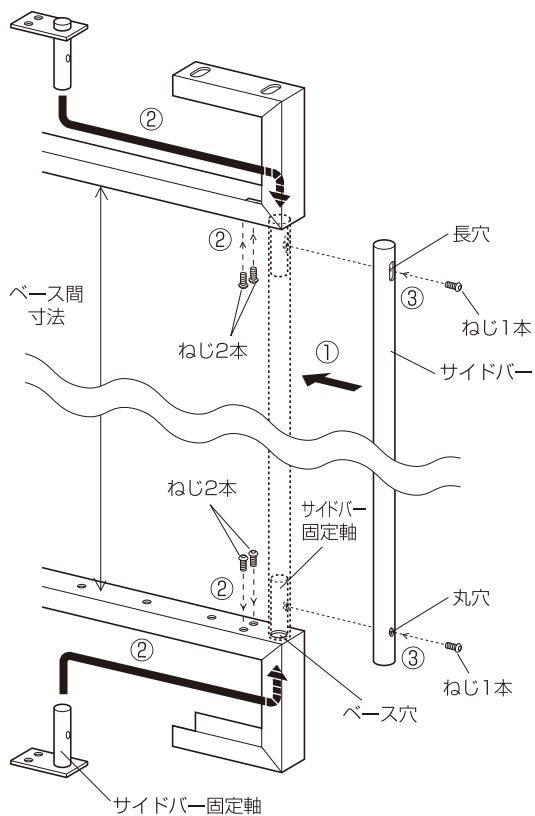
※別売の木ねじ固定板を使用してください。



コーススレッドは4.8×65（6本）を標準としていますが、現場の状況により長さの変更も可能ですので当社へお問い合わせください。

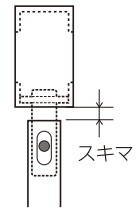
## サイドバーの取付

### ※サイドバー付の場合



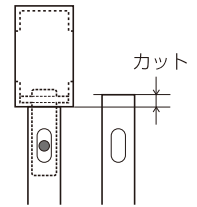
- ① サイドバーをベース穴に合うように配置します。  
(サイドバーの長穴が上側(天井側)になるようにします。)

サイドバーはベース間寸法よりも短くないと配置できません。その際、ベースとサイドバーの間にスキマが生じますが、10mmまで可能です。



### サイドバーが長い場合

サイドバーが長いとベース間にサイドバーを配置できないので、長い分をカットしてください。但し、10mmまで可能です。



### お願い

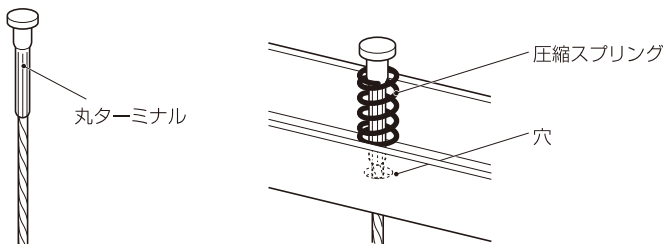
サイドバーの長さ調整は±10mmですので、事前に天井から床の寸法を正確に測定し、当社へ寸法指定してください。

- ② サイドバー固定軸をベース穴からサイドバーへ挿入し、サイドバー固定軸をねじ2本で固定します。(上下2ヶ所)  
③ サイドバーをサイドバー固定軸にねじ固定します。(長穴と丸穴の2ヶ所)  
④ もう1本のサイドバーも①～③と同様に取付けてください。

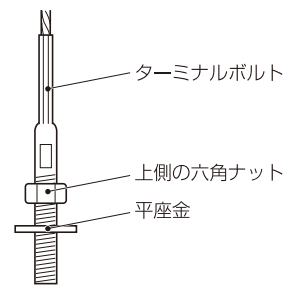
工具 六角レンチ(4mm)

## ワイヤーの取付

- ① かしめワイヤーに圧縮スプリングを通して上部ベースの穴に通します。

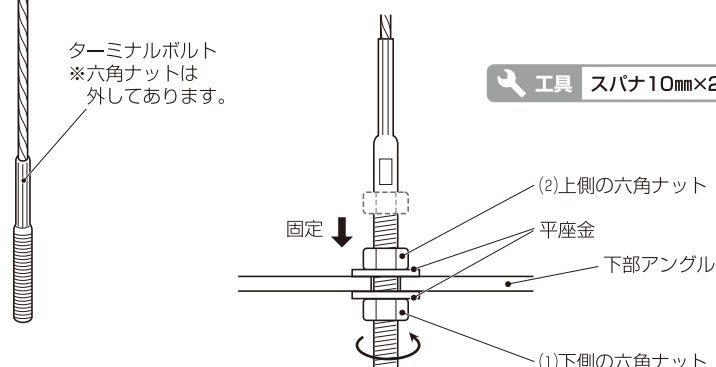


- ② ターミナルボルトを下部ベースの穴に通す前に上側の六角ナットをねじ込み、平座金を通します。



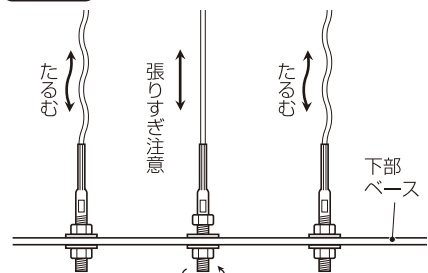
- ③ ターミナルボルトを下部ベースの穴に通したら、下側の六角ナットと平座金を取り付けます。

- ④ ワイヤーを緊張します。  
(1) 下側の六角ナットを回してワイヤーを緊張します。  
(2) 張り終わったら上側の六角ナットを回して固定します。  
※上側の六角ナットを回して固定する前にワイヤー全部の張り具合を均等にしてから固定してください。



工具 スパナ10mm×2ヶ

### ポイント



1本のワイヤーを強く張り過ぎると、ベースがたわんで他のワイヤーがたるんでしまいますので、張りすぎないように軽めに張ってください。

## 点検・メンテナンス

緑化ワイヤーパーテーションの点検・メンテナンスにつきましては、下記の項目を定期的実施してください。  
また、補修や部品交換などの修理に関しては、販売店（施工業者）に依頼し、取扱説明書を熟読された上で正しく修理してください。

### ① 各部品を固定しているねじに緩みがないか。

●ねじの緩みがあった場合、増締めをしてください。

また、ねじが欠落していた場合は、新しいねじを購入し再度組付けてください。

### ② ベースの固定に異常はないか。

●ベースのアンカーもしくは木ねじの固定にがたつきがあった場合、増締めをしてください。

またコンクリートなどの躯体に割れなどがあった場合は、補修をしてください。

●埋込型の埋設部にがたつきがあった場合についても補修をしてください。

※補修する場合は販売店（施工業者）へ依頼してください。

### ③ ベースやサイドバーに著しい汚れや錆がないか。

(1)軽い汚れ（手あか、砂や泥など）は、やわらかい布やスポンジで水拭きした後、中性洗剤をつけて拭き取ってください。

(2)それでも汚れが取れない場合、市販のクリーナー（洗剤）やリムーバー（除去液）またはシンナー等をつけて拭くと効果があります。

(3)もらい錆（土埃中の鉄粉等が付着して発生する斑点状の錆）は(1)(2)を行ない、それでも取れない場合は、市販の錆取り剤を使用してください。

(4)市販の錆取り剤でも除去できない錆の場合、ヘアライン目のペーパーや研磨材で磨いて錆を除去してください。

#### ポイント

こまめに拭き掃除をしてください。

汚れやもらい錆は早い段階であれば簡単に除去できますので、しつこい汚れや錆付く前にきれいに拭いてください。

### ④ 各部品に変形、割れ、錆などがいないか。


●変形や割れなどの異常があった場合は、その部品を新品と交換してください。

●錆があった場合は、③を参照し、錆を除去してください。

あまりにも著しい錆は取りにくいので、部品の交換をお勧めします。

### ⑤ ワイヤーのたるみ、摩耗、錆などの異常がないか。

●ワイヤーにたるみがあった場合、ワイヤーを緊張してください。

 **ワイヤーの取付** 参照

●断線や摩耗、腐蝕があった場合はワイヤーの交換をしてください。

尚、不明な点などがございましたら、当社もしくは販売店（施工業者）へお問い合わせください。

製造元

**ASANO 浅野金属工業株式会社**

〒955-0803 新潟県三条市月岡2866

TEL 0256-33-0101 FAX 0256-33-0096

ホームページ <http://www.asano-metal.co.jp>

E-mail [sales@asano-metal.co.jp](mailto:sales@asano-metal.co.jp)

販売店名